

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-192011

(P2005-192011A)

(43) 公開日 平成17年7月14日(2005.7.14)

(51) Int.Cl.⁷

H04N 5/225

G03B 17/02

G03B 17/56

F I

H04N 5/225

G03B 17/02

G03B 17/56

F

C

テーマコード (参考)

2H100

2H105

5C022

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願2003-432261 (P2003-432261)

(22) 出願日 平成15年12月26日 (2003.12.26)

(71) 出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(74) 代理人 100089875

弁理士 野田 茂

(72) 発明者 小出 厚司

東京都品川区東五反田2丁目17番1号

ソニーイーエムシーエス株式会社内

(72) 発明者 半澤 誠規

東京都品川区北品川6丁目7番35号

ソニー株式会社内

(72) 発明者 横山 道生

東京都品川区東五反田2丁目17番1号

ソニーイーエムシーエス株式会社内

Fターム(参考) 2H100 AA12 AA13 AA14 AA18

最終頁に続く

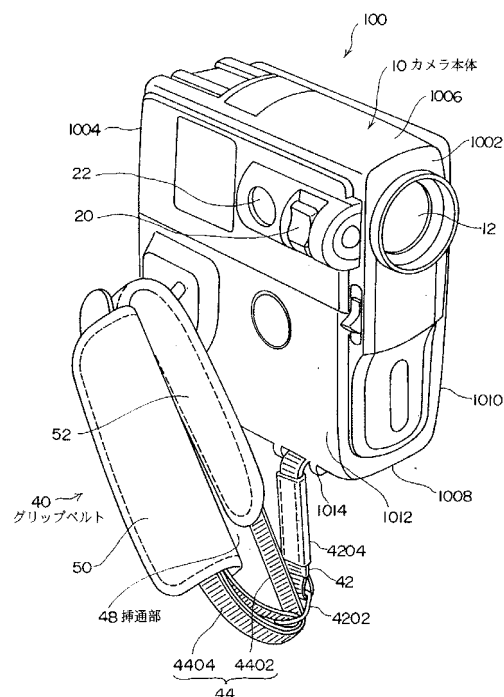
(54) 【発明の名称】 カメラ

(57) 【要約】

【課題】カメラ本体を把持しやすく、また、操作しやすく、さらには取り扱い性や取り回し性を向上させる上で有利なカメラを提供する。

【解決手段】カメラ本体10の右側面1012にはグリップベルト40が設けられている。グリップベルト40は、第1ベルト42と第2ベルト44とを有している。第2ベルト44は、ベルト連結具4202に連結されて設けられている。第2ベルト44には、カメラ本体10の右側面1012側に位置する内側ベルト部分4402と、この内側ベルト部分4402の外側方に位置する外側ベルト部分4404とでそれらの内側に右手の親指を除く4本の指およびこの4本の指に対応する手のひら部分が挿通できる大きさの挿通部48が設けられている。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

左右の厚さよりも前後の長さおよび上下の高さが大きい扁平な矩形板状を呈するカメラ本体と、

前記カメラ本体の前面の上部に臨むように設けられた撮影光学系と、

前記カメラ本体の右側面の上部かつ前部に設けられた撮影用操作部材と、

前記カメラ本体の右側面に設けられたグリップベルトとを備え、

前記グリップベルトは、前記カメラ本体の前部の下部に取着され該下部から垂設されてその下端にベルト連結具が取着された第 1 ベルトと、前記ベルト連結具に連結された第 2 ベルトとを有し、

10

前記第 2 ベルトには、カメラ本体の右側面側に位置する内側ベルト部分と、この内側ベルト部分の外側方に位置する外側ベルト部分とでそれらの内側に右手の親指を除く 4 本の指およびこの 4 本の指に対応する手のひら部分が挿通できる大きさの挿通部が設けられ、

前記内側ベルト部分は、その長手方向の一端が前記ベルト連結具に連結され、その長手方向の他端が前記カメラ本体の右側面の後部に取着され、

前記内側ベルト部分により前記挿通部が前記カメラ本体の右側面の側方で前記カメラ本体の前後方向に細長形状となりかつ前記挿通部の後端が該挿通部の前端よりも上方に位置するように傾斜して形成され、

右手の親指を除く 4 本の指およびこの 4 本の指に対応する手のひら部分を前記挿通部に挿通し、親指の先部をカメラ本体の後面に当て、少なくとも中指の先部と薬指の先部をカメラ本体の前面に当てることでカメラ本体を保持し、人差し指で前記撮影用操作部材を操作できるように構成されている、

20

ことを特徴とするカメラ。

【請求項 2】

前記内側ベルト部分の他端は、前記カメラ本体の右側面で前記第 1 ベルトがカメラ本体に取着された部分よりも上方の箇所に取着されていることを特徴とする請求項 1 記載のカメラ。

【請求項 3】

前記内側ベルト部分の他端は、前記カメラ本体の右側面に着脱可能に取着されていることを特徴とする請求項 1 記載のカメラ。

30

【請求項 4】

前記外側ベルト部分には甲当てパッドが取着されていることを特徴とする請求項 1 記載のカメラ。

【請求項 5】

前記外側ベルト部分には甲当てパッドが取着され、前記甲当てパッドには、前記内側ベルト部分を覆い前記挿通部に右手の親指を除く 4 本の指およびこの 4 本の指に対応する手のひら部分が挿通された状態で該手のひら部分に接触する軟質材料からなるパッドが連結されていることを特徴とする請求項 1 記載のカメラ。

【請求項 6】

前記第 2 ベルトは、単一のベルト体がその長手方向の中間部で折り返されそれらの両端部分が接合されて形成されており、前記ベルト体が接合された部分以外の前記ベルト体箇所により前記内側ベルト部分および外側ベルト部分が形成され、前記外側ベルト部分に甲当てパッドが設けられ、前記甲当てパッドは開閉可能な一对の開閉片と、これら開閉片が向かい合う面にそれぞれ取着された面ファスナーとを備え、一对の開閉片のうちの一方の開閉片に前記外側ベルト部分が挿通され、前記ベルト体が接合された部分および該部分に近接する前記内側ベルト部分および外側ベルト部分の部分は前記ベルト連結具に挿通されて該ベルト連結具から折り返され、前記ベルト体が接合された部分の先部は前記一对の開閉片の間に配置され前記面ファスナーを介して前記一对の開閉片が閉じることで該開閉片により保持されていることを特徴とする請求項 1 記載のカメラ。

40

【発明の詳細な説明】

50

【技術分野】

【0001】

本発明はグリップベルトを備えるカメラに関する。

【背景技術】

【0002】

カメラとして、例えば、ビデオカメラが知られている。

このビデオカメラは、左右の厚さよりも前後の長さおよび上下の高さが大きい扁平な矩形板状を呈するカメラ本体と、前記カメラ本体の前面の上部に臨むように設けられた撮影光学系と、前記カメラ本体の右側面の上部かつ前部に設けられた撮影用操作部材と、前記カメラ本体の右側面に設けられたグリップベルトとを備えている。

10

このようなグリップベルトは、その両端がカメラ本体の側面の前部箇所と後部箇所に連結されており、右手のひらをカメラ本体の側面に臨ませ、かつ、右手の甲をグリップベルトの内側に臨ませた状態で、親指を除く4本の指をグリップベルトとカメラ本体の側面との間に形成される空間に挿入し、例えば親指をカメラ本体の下部または後部に位置させるとともに、親指を除く指をカメラ本体の上部または前部に位置させ、これによりカメラ本体を親指と他の指とで把持しつつ撮影用操作部材を操作できるようにしている（例えば特許文献1参照）。

【特許文献1】特開2001-53987号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

20

【0003】

しかしながら、従来のカメラでは、カメラ本体側面とグリップベルトの間に手を挿入した際に、指先がカメラ本体を把持するために適切な箇所に位置するとは限らないため、カメラ本体をしっかりと把持する上で不利があり、また、撮影用操作部材を操作しやすい箇所に指が位置するとは限らないため、操作をする上でも不利があった。

また、カメラ本体側面とグリップベルトの間に手を挿入するため、挿入された手がカメラ本体側面とグリップベルトとにより拘束されてしまい、より詳細には、カメラ本体側面に手のひらが付いた状態に常に拘束されて手のひらの自由度がなくなり、取り扱い性や取り回し性を向上する上で限界があった。

本発明はこのような事情に鑑みなされたものであり、その目的は、ユーザーがカメラ本体を把持しやすく、また、操作しやすく、さらには取り扱い性や取り回し性を向上させる上で有利なカメラを提供することにある。

30

【課題を解決するための手段】

【0004】

上述の目的を達成するため、本発明のカメラは、左右の厚さよりも前後の長さおよび上下の高さが大きい扁平な矩形板状を呈するカメラ本体と、前記カメラ本体の前面の上部に臨むように設けられた撮影光学系と、前記カメラ本体の右側面の上部かつ前部に設けられた撮影用操作部材と、前記カメラ本体の右側面に設けられたグリップベルトとを備え、前記グリップベルトは、前記カメラ本体の前部の下部に装着され該下部から垂設されてその下端にベルト連結具が装着された第1ベルトと、前記ベルト連結具に連結された第2ベルトとを有し、前記第2ベルトには、カメラ本体の右側面側に位置する内側ベルト部分と、この内側ベルト部分の外側方に位置する外側ベルト部分とでそれらの内側に右手の親指を除く4本の指およびこの4本の指に対応する手のひら部分が挿通できる大きさの挿通部が設けられ、前記内側ベルト部分は、その長手方向の一端が前記ベルト連結具に連結され、その長手方向の他端が前記カメラ本体の右側面の後部に装着され、前記内側ベルト部分により前記挿通部が前記カメラ本体の右側面の側方で前記カメラ本体の前後方向に細長形状となりかつ前記挿通部の後端が該挿通部の前端よりも上方に位置するように傾斜して形成され、右手の親指を除く4本の指およびこの4本の指に対応する手のひら部分を前記挿通部に挿通し、親指の先部をカメラ本体の後面に当て、少なくとも中指の先部と薬指の先部をカメラ本体の前面に当てることでカメラ本体を保持し、人差し指で前記撮影用操作部材

40

50

を操作できるように構成されていることを特徴とする。

【発明の効果】

【0005】

そのため、本発明によれば、第1ベルトによりカメラ本体の右側面に対して自由に動ける範囲が大きく確保された挿通部に手を挿通するので、従来と異なって手のひらの自由度が大きく確保され、指先がカメラ本体を把持するために適切な箇所に届きやすく、カメラ本体をしっかりと把持する上で有利となり、また、撮影用操作部材を操作しやすい箇所に指が届きやすく、カメラ本体の右側面の前部の上部に設けられた撮影用操作部材を操作する上でも有利となる。また、従来のようにカメラ本体側面により手が拘束されることがなく、手のひらの自由度が大きく確保され、取り扱い性や取り回し性を向上する上で有利となる。 10

【発明を実施するための最良の形態】

【0006】

カメラ本体を把持しやすく、また、操作しやすく、さらには取り扱い性や取り回し性を向上させるという目的を、グリップベルトに4本の指およびこの4本の指に対応する手のひら部分が挿通できる大きさの挿通部を設けることによって実現した。

【実施例1】

【0007】

次に本発明の実施例1について図面を参照して説明する。

図1は実施例1のカメラを前方から見た斜視図、図2は実施例1のカメラを後方から見た斜視図、図3は実施例1のカメラを下方から見た斜視図、図4はグリップベルトのカメラに対する連結を説明する説明図、図5、図6はグリップベルトのカメラに対する着脱操作の説明図、図7～図11はグリップベルトの構成を示す斜視図、図12、図13はグリップベルトの使用説明図、図14はカメラの操作説明図である。

なお、本明細書においてカメラの左右とはカメラの後方から見た左右をいうものとする。

【0008】

図1～図3に示すように、本実施例のカメラは動画および静止画の記録が可能なビデオカメラ100である。

ビデオカメラ100はカメラ本体10を備え、カメラ本体10の内部にカメラ機構部とビデオ機構部とが一体に内蔵されている。

カメラ本体10は、左右の厚さよりも前後の長さおよび上下の高さが大きい扁平な矩形板状に形成されている。本実施例では上下の高さが前後の長さよりも大きい寸法でカメラ本体10が形成され、ビデオカメラ100は縦型となっている。

【0009】

図1に示すように、カメラ本体10には該カメラ本体10の前面1002の上部に臨むように撮影光学系12が配置されている。

図2、図3に示すように、カメラ本体10の後面1004の上部にはビューファインダー14が設けられ、ビューファインダー14の下方の後面1004箇所には電源スイッチ16と、動画記録の開始と停止を行うためのスタートストップボタン18とが設けられている。 40

図1、図3に示すようにカメラ本体10の右側面1012の前部の上部には、ズームレバー20が揺動可能に配設され、ズームレバー20の後方箇所に静止画撮影用のシャッターボタン22が設けられている。

なお、本実施例において、電源スイッチ16、スタートストップボタン18、ズームレバー20、シャッターボタン22はそれぞれ本発明における撮影用操作部材を構成している。

【0010】

図2に示すように、カメラ本体10の左側面1010の上半部には、矩形板状を呈する 50

表示部 2 4 が開閉可能に設けられるとともに、閉じられた状態の表示部 2 4 を収容する凹部 1 0 1 1 が設けられている。

表示部 2 4 は、ケース 2 5 と表示器 2 6 を備えている。

ケース 2 5 は上下寸法よりも前後寸法が大きい前後に長い横長の矩形板状を呈し、その前端がカメラ本体 1 0 の左側面 1 0 1 0 の前部の上部に設けられたヒンジ 2 5 0 2 に開閉可能に連結されている。ヒンジ 2 5 0 2 によるケース 2 5 の連結は、カメラ本体 1 0 の上下方向に延在する第 1 の軸線回りと、該第 1 の軸線と直交する第 2 の軸線回りの双方に回動可能となるようになされている。

ケース 2 5 は、厚さ方向の一方に位置する外面 2 5 0 4 と、厚さ方向の他方に位置する内面 2 5 0 6 と、内面 2 5 0 6 に設けられた凹部とを備える。

ケース 2 5 の外面 2 5 0 4 は、表示部 2 5 を閉じた状態でカメラ本体 1 0 の表面と連続状となりカメラ本体 1 0 の表面の一部を形成するように構成されている。

表示器 2 6 は凹部に収納され、したがって、ケースの内面は表示器の周囲で延在する矩形枠状の面となっている。

表示器 2 6 は、動画、静止画、文字などを含む画像を表示するもので、表示器 2 6 は例えばハイブリッド液晶表示器と該ハイブリッド液晶表示器を照明するバックライトから構成されている。本実施例では、前記バックライトによってハイブリッド液晶表示器を照明した状態での表示と、バックライトを消灯してハイブリッド液晶表示器を照明せず周囲からの光を利用した状態での表示との双方が可能となるように構成されている。

【 0 0 1 1 】

内面 2 5 0 6 のうちヒンジ 2 5 0 2 と反対側に位置する箇所には、より詳細には、ケース 1 0 の前後方向でヒンジ 2 5 0 2 と反対側に位置する箇所には、上下方向に間隔をおいて上側にバックライトボタン 2 8 が、下側にスタートストップボタン 3 0 が設けられている。バックライトボタン 2 8 は表示器 2 6 の前記バックライトのオン、オフを行うためのものであり、スタートストップボタン 3 0 は前記スタートストップボタン 1 8 と同様に動画記録の開始と停止を行うためのものである。

なお、表示部 2 4 の内面 2 5 0 6 のヒンジ 2 5 0 2 と反対側に位置する箇所にバックライトボタン 2 8 とスタートストップボタン 3 0 が設けられているので、図 1 3、図 1 4 に示すハイアングル撮影やローアングル撮影の際、ユーザー側に表示部 2 4 の表示面を向ければ、これらバックライトボタン 2 8 とスタートストップボタン 3 0 がユーザーの左手の指先で容易に操作しやすい箇所に必然的に位置することになり、操作性を向上する上で有利である。また、これらバックライトボタン 2 8 とスタートストップボタン 3 0 の近傍に位置させた左手の親指と親指を除く指で表示部 2 4 のケース 2 5 の縁部をその厚さ方向で挟んで把持すれば、カメラ本体 1 0 のぶれを防止でき撮影姿勢の安定化を図る上で有利となる。なお、表示部 2 4 のケース 2 5 に設けるスイッチはこれらバックライトボタン 2 8 とスタートストップボタン 3 0 に限定されるものではなく、例えばズーム操作のスイッチやシャッタスイッチなどを設けてもよい。また、これらのスイッチの一部または全てを表示器 2 6 の表示面に設けたタッチスイッチで実現してもよいことはもちろんである。

【 0 0 1 2 】

図 1、図 3 に示すように、カメラ本体 1 0 の右側面 1 0 1 2 にはグリップベルト 4 0 が設けられている。

グリップベルト 4 0 は、本実施例では、第 1 ベルト 4 2 と第 2 ベルト 4 4 とを有している。第 1 ベルト 4 2 および第 2 ベルト 4 4 は、例えば、可撓可能な合成樹脂材料で形成されている。

第 1 ベルト 4 2 は、その長手方向の一端がカメラ本体 1 0 の右側面 1 0 1 2 の前部の下部の取り付け部 1 0 1 4 に取着され、その長手方向の他端に矩形リング状のベルト連結具 4 2 0 2 が取着され、その長手方向の両端を除く部分にパッド 4 2 0 4 が取着されている。そして、カメラ本体 1 0 1 0 を持ち上げると、第 1 ベルト 4 2 はその幅方向をカメラの前後方向に平行させた状態で取り付け部 1 0 1 4 から下方に垂れ下がる。パッド 4 2 0 4 は、例えば、合成皮革や、厚めの布、軟質な合成樹脂、軟質なゴムなどの軟質材料により

10

20

30

40

50

形成されている。

【0013】

第2ベルト44は、ベルト連結具4202に連結されて設けられている。

第2ベルト44には、図1、図3に示すように、カメラ本体10の右側面1012側に位置する内側ベルト部分4402と、この内側ベルト部分4402の外側方に位置する外側ベルト部分4404とでそれらの内側に右手の親指を除く4本の指およびこの4本の指に対応する手のひら部分が挿通できる大きさの挿通部48が設けられている。

内側ベルト部分4402の長手方向の一端はベルト連結具4202に連結されている。内側ベルト部分4402の長手方向の他端は前記カメラ本体10の右側面1012の後部に取

10

着されている。本実施例では、内側ベルト部分4402の他端は、前記カメラ本体10の右側面1012の後部で前記第1ベルト42がカメラ本体10に取

着された取り付け部1014よりも上方の箇所に取

着されている。さらに本実施例では、内側ベルト部分4402の他端は、前記カメラ本体10の右側面1012の後部に着脱可能に取

着されている。より詳細に説明すると、カメラ本体10の右側面1012の後部には、図4、図5、図6に示すように、横長形状の係合孔4602や解除レバー4604からなる係脱機構46が設けられ、内側ベルト部分4402には図8に示すように、係脱機構46に係脱する金具4406が設けられている。そして、図5に示すように、内側ベルト部分4402の前部を後部よりも高くなるように傾斜させて金具4406の係合片4408を係合孔4602に挿入し、図6に示すように、内側ベルト部分4402の前部を後部よりも低くなるように傾動させると、係合片4408が係脱機構46に係合されるように構成されている。また、図6に示す内側ベルト部分4402の傾斜状態から解除レバー4604を操作し、図5に示すように内側ベルト部分4402の前部を後部よりも高くなるように傾動させると、係合片4408が係脱機構46から外れるように構成されている。なお、このような係脱機構46や金具4406の構造は、従来公知、周知の様々な構成が採用可能である。

20

【0014】

このように内側ベルト部分4402の長手方向の両端がベルト連結具4202と係脱機構46に連結されることにより、挿通部48が前記カメラ本体10の右側面1012の側方で前記カメラ本体10の前後方向に細長形状となりかつ前記挿通部48の後端が該挿通部48の前端よりも上方に位置するように傾斜して形成されている。より詳細には、カメラ本体10の側方から見て、挿通部48の長手方向の前部がカメラ本体10の下方に位置し、挿通部48の長手方向の中間部がカメラ本体10の下面近傍に位置し、挿通部48の後部がカメラ本体10の右側面1012の側方に位置する。また、挿通部48は、係脱機構46に取

30

着された後端箇所を支点として挿通部48の前端が上下方向やカメラ本体10の右側面1012から離れる方向に動くことができ、自由度が確保されている。さらに、挿通部48の前端が第1ベルト42の下端に連結されているので、取り付け部1014を支点とした第1ベルト42の移動範囲に対応した範囲で挿通部48の前端は動くことができ、挿通部48の自由度がより大きく確保されている。

外側ベルト部分4404には甲当てパッド50が取

着されている。甲当てパッド50は、例えば、合成皮革や、厚めの布、軟質な合成樹脂、軟質なゴムなどの軟質材料により形成されている。本実施例では、甲当てパッド50には、内側ベルト部分4402を覆い挿通部48に右手の親指を除く4本の指およびこの4本の指に対応する手のひら部分が挿通された状態で該手のひら部分に接触するパッド52が連結されている。パッド52は、例えば、合成皮革や、厚めの布、軟質な合成樹脂、軟質なゴムなどの軟質材料により形成されている。このように外側ベルト部分4404には甲当てパッド50が取

40

着され、かつ、内側ベルト部分4402には前記甲当てパッド50に連続するパッド52が設けられていることにより、挿通部48に手のひらを挿通することがユーザーにとって瞬時に判別できる

50

挿通部 4 8 に挿通し、親指の先部をカメラ本体 1 0 の後面に当て、少なくとも中指の先部と薬指の先部をカメラ本体 1 0 の前面に当てることでカメラ本体 1 0 を保持し、人差し指でズームレバー 2 0 とシャッターボタン 2 2 を操作できるように構成されている。

【 0 0 1 5 】

第 2 ベルト 4 4 について詳細に説明すると、図 7 ~ 図 1 1 に示すように、第 2 ベルト 4 4 は、単一のベルト体とその長手方向の中間部で折り返されそれらの両端部分が接合されて形成されており、ベルト体が接合された接合部分 4 4 1 0 以外のベルト体箇所により内側ベルト部分 4 4 0 2 および外側ベルト部分 4 4 0 4 が形成されている。

甲当てパッド 5 0 は、開閉可能な一对の開閉片 5 0 0 2 A、5 0 0 2 B と、これら開閉片 5 0 0 2 A、5 0 0 2 B が向かい合う面にそれぞれ取着された面ファスナー 5 0 0 4 A、5 0 0 4 B とを備え、一对の開閉片 5 0 0 2 A、5 0 0 2 B のうちの一方の開閉片 5 0 0 2 A で面ファスナー 5 0 0 4 A の内側の箇所に外側ベルト部分 4 4 0 4 が挿通され面ファスナーとともに開閉片に縫い合わされている。

パッド 5 2 は開閉片 5 0 0 2 A から突設されている。本実施例では、パッド 5 2 の内部に該パッド 5 2 の長手方向に沿って延在するベルト挿通孔 5 2 0 2 が設けられ、内側ベルト部分 4 4 0 2 はこのベルト挿通孔 5 2 0 2 に挿通されている。

そして、図 1 0 に示すように、接合部分 4 4 1 0 および該接合部分 4 4 1 0 に近接する内側ベルト部分 4 4 0 2 および外側ベルト部分 4 4 0 4 の部分はベルト連結具 4 2 0 2 に挿通され、図 9 に示すように、該ベルト連結具 4 2 0 2 から折り返され、接合部分 4 4 1 0 の先部は前記一对の開閉片 5 0 0 2 A、5 0 0 2 B の間に配置され、接合部分 4 4 1 0 の先部の面ファスナー 4 4 1 2 が開閉片 5 0 0 2 A の面ファスナー 5 0 0 4 A に取着され、図 7 に示すように、面ファスナー 5 0 0 4 A、5 0 0 4 B を介して一对の開閉片 5 0 0 2 A、5 0 0 2 B が閉じることでこれら開閉片 5 0 0 2 A、5 0 0 2 B により保持される。したがって、一对の開閉片 5 0 0 2 A、5 0 0 2 B で保持される接合部分 4 4 1 0 の長さを変えることで挿通部 4 8 の大きさが調整される。

なお、接合部分 4 4 1 0 の先端には係止具 4 4 1 4 が取着されており、接合部分 4 4 1 0 がベルト連結具 4 2 0 2 から外れないようにしている。

【 0 0 1 6 】

次に、作用効果について説明する。

本実施例では、図 1 2 に示すように、右手の親指を除く 4 本の指およびこの 4 本の指に対応する手のひら部分を挿通部 4 8 に挿通し、親指の先部をカメラ本体 1 0 の後面 1 0 0 4 に当て、中指の先部と薬指の先部をカメラ本体 1 0 の前面 1 0 0 2 に当てることでカメラ本体 1 0 を保持し、人差し指でズームレバー 2 0 およびシャッターボタン 2 2 などの撮影用操作部材を操作することができる。あるいは、右手の親指を除く 4 本の指およびこの 4 本の指に対応する手のひら部分を挿通部 4 8 に挿通し、親指の先部をカメラ本体 1 0 の後面 1 0 0 4 に当て、中指の先部と薬指の先部と小指の先部をカメラ本体 1 0 の前面 1 0 0 2 に当てることでカメラ本体 1 0 を保持し、人差し指で前記撮影用操作部材を操作することができる。

この場合、従来と違って、カメラ本体 1 0 の側面とグリップベルトの間に手を挿入するのではなく、カメラ本体 1 0 の右側面 1 0 1 2 に対して自由に動くことができる挿通部 4 8 に手を挿通し、しかもこの挿通部 4 8 の前端はカメラ本体 1 0 の前端の下部の下方に離れた第 1 ベルト 4 2 の下端に連結されカメラ本体 1 0 の右側面 1 0 1 2 に対して挿通部 4 8 が自由に動くことができる範囲がより大きく確保されているので、挿通部 4 8 に挿通された手がカメラ本体 1 0 の右側面 1 0 1 2 とグリップベルト 4 0 とにより拘束されることがなく、手のひらの自由度が大きく確保され、指先がカメラ本体 1 0 を把持するために適切な箇所に届きやすく、カメラ本体 1 0 をしっかりと把持する上で有利となり、また、ズームレバー 2 0 およびシャッターボタン 2 2 などの撮影用操作部材を操作しやすい箇所に指が届きやすく、カメラ本体 1 0 の右側面 1 0 1 2 の前部の上部に設けられた撮影用操作部材を操作をする上でも有利となる。

また、従来と違って、カメラ本体 1 0 側面とグリップベルト 4 0 の間に手を挿入するの

10

20

30

40

50

ではなく、カメラ本体 10 の右側面 1012 に対して自由に動くことができる範囲が大きく確保された挿通部 48 に手を挿通するので、従来のようにカメラ本体 10 の右側面 1012 により手が拘束されることがなく、手のひらの自由度が大きく確保され、取り扱い性や取り回し性を向上する上で有利となる。

【0017】

また、本実施例では、内側ベルト部分 4402 の後端が、カメラ本体 10 の右側面 1012 に着脱可能に取付されているので、内側ベルト部分 4402 の後端部分をカメラ本体 10 の右側面 1012 から取り外すことで、グリップベルト 40 をストラップベルトとして使用することができる。すなわち、図 7、図 8 に示すように、グリップベルト 40 の内側ベルト部分 4402 の金具 4406 をカメラ本体 10 の係脱機構 46 から取り外すことで、内側ベルト部分 4402 はカメラ本体 10 の右側面 1012 から離れる。そして、図 9、図 10、図 11 に示すように一対の開閉片 5002A、5002B の間から接合部分 4410 の先部を外し、係止具 4414 がベルト連結具 4202 に係止するまで接合部分 4410 を引き出す。そして、一対の開閉片 5002A、5002B を面ファスナー 5004A、5004B を介して閉じることで、グリップベルト 40 をストラップベルトとして使用することができる。具体的には、係止具 4414 がベルト連結具 4202 に係止するまで接合部分 4410 を引き出すと、図 11 に示すように、内側ベルト部分 4402 および外側ベルト部分 4404 の長さは最大となり、これにより挿通部 48 の大きさも最大となり、挿通部 48 はその内部に手のひら全体を挿通できる大きさとなる。したがって、挿通部 48 に右手を挿通させ、グリップベルト 40 をストラップベルトとして使用することができる。

この場合には、図 13 に示すように、挿通部 48 に右手を挿通させ、挿通部 48 を手首に位置させた状態で右手によってカメラ本体 10 を把持することができ、カメラ本体 10 をユーザーの頭部よりも上方に位置させたハイアングル撮影、あるいは、カメラ本体 10 をユーザーの頭部よりも下方に位置させたローアングル撮影を行う場合、カメラ本体 10 の姿勢を自由に変わることができ、取り扱い性や取り回し性を向上する上で有利となる。

【0018】

なお、実施例では、第 1 ベルト 42 と、この第 1 ベルト 42 とは別体の第 2 ベルト 44 とでグリップベルト 40 を構成した場合について説明したが、ベルトの取り回しやベルト連結具 4202 の構造如何によってはグリップベルト 40 を単一のベルトで構成することも可能であり、したがって、本発明はグリップベルト 40 が単一のベルトで構成されているものにも無論適用され、この場合には実施例に対応するベルト部分がそれぞれ第 1 ベルト 42 と第 2 ベルト 44 に相当することになる。

また、実施例においては、カメラとしてビデオカメラを例示したが、本発明はデジタルスチルカメラ、テレビカメラ、フィルム式カメラなどの種々のカメラに無論適用可能である。

【図面の簡単な説明】

【0019】

【図 1】実施例 1 のカメラを前方から見た斜視図である。

【図 2】実施例 1 のカメラを後方から見た斜視図である。

【図 3】実施例 1 のカメラを下方から見た斜視図である。

【図 4】グリップベルトのカメラに対する連結を説明する説明図である。

【図 5】グリップベルトのカメラに対する着脱操作の説明図である。

【図 6】グリップベルトのカメラに対する着脱操作の説明図である。

【図 7】グリップベルトの構成を示す斜視図である。

【図 8】グリップベルトの構成を示す斜視図である。

【図 9】グリップベルトの構成を示す斜視図である。

【図 10】グリップベルトの構成を示す斜視図である。

【図 11】グリップベルトの構成を示す斜視図である。

【図 12】グリップベルトの使用説明図である。

10

20

30

40

50

【図 13】グリップベルトの使用説明図である。

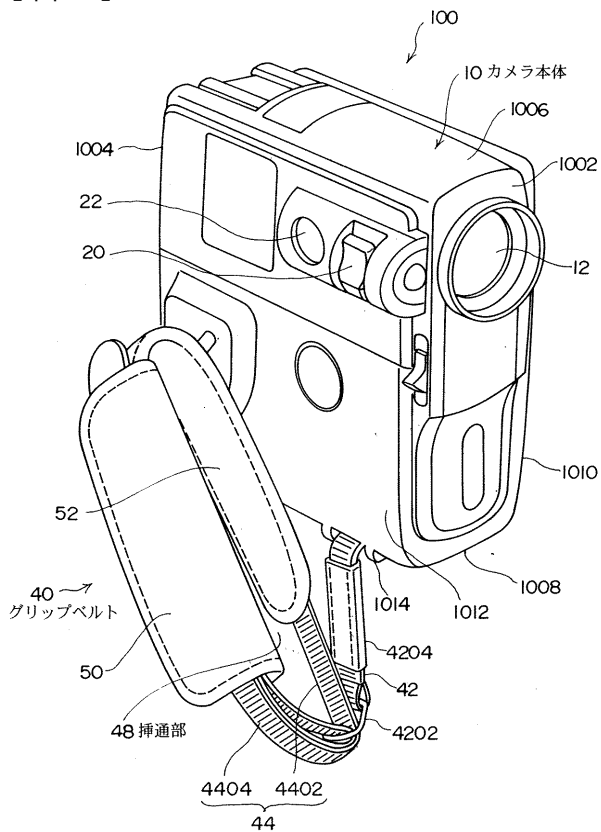
【図 14】カメラの操作説明図である。

【符号の説明】

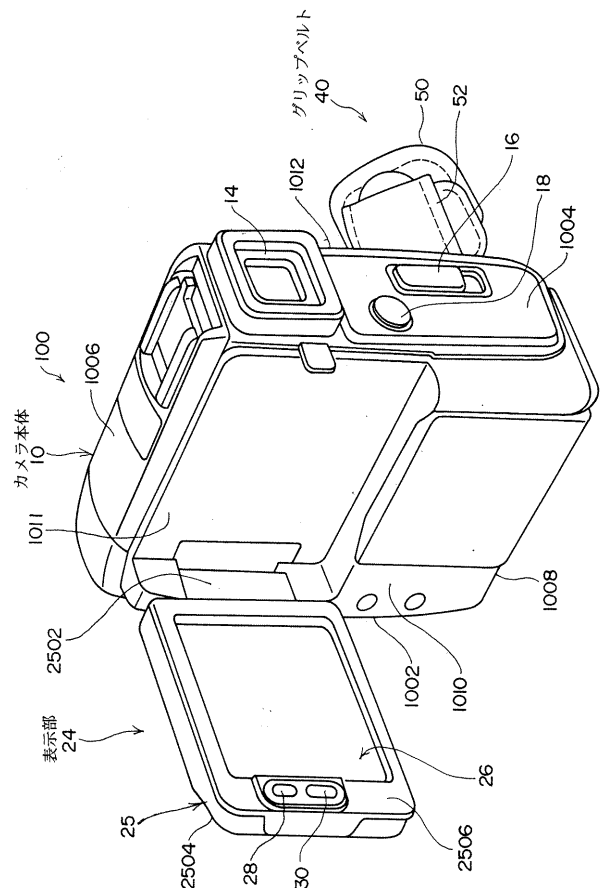
【0020】

100 ... カメラ、10 ... カメラ本体、1002 ... 前面、1004 ... 後面、1012 ... 右側面、12 ... 撮影光学系、20 ... ズームレバー、22 ... シャッターボタン、40 ... グリップベルト、42 ... 第1ベルト、4202 ... ベルト連結具、44 ... 第2ベルト、4402 ... 内側ベルト部分、4404 ... 外側ベルト部分、48 ... 挿通部。

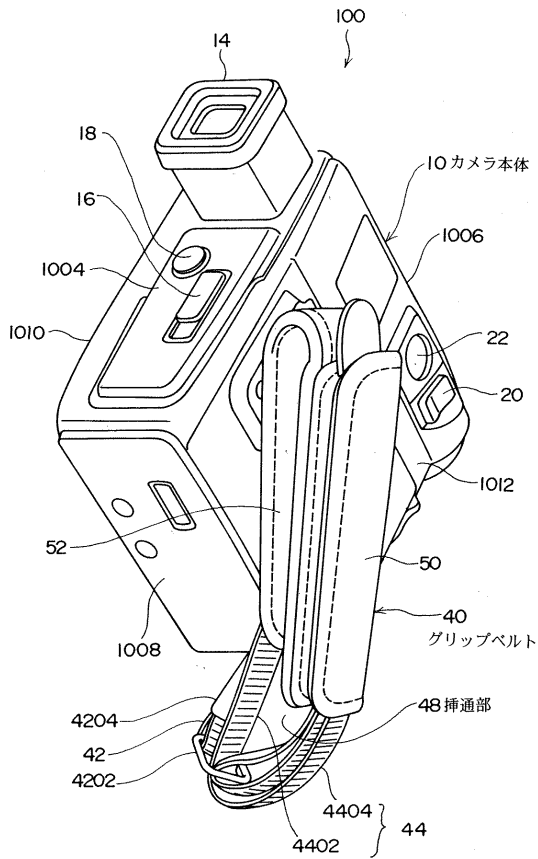
【図 1】



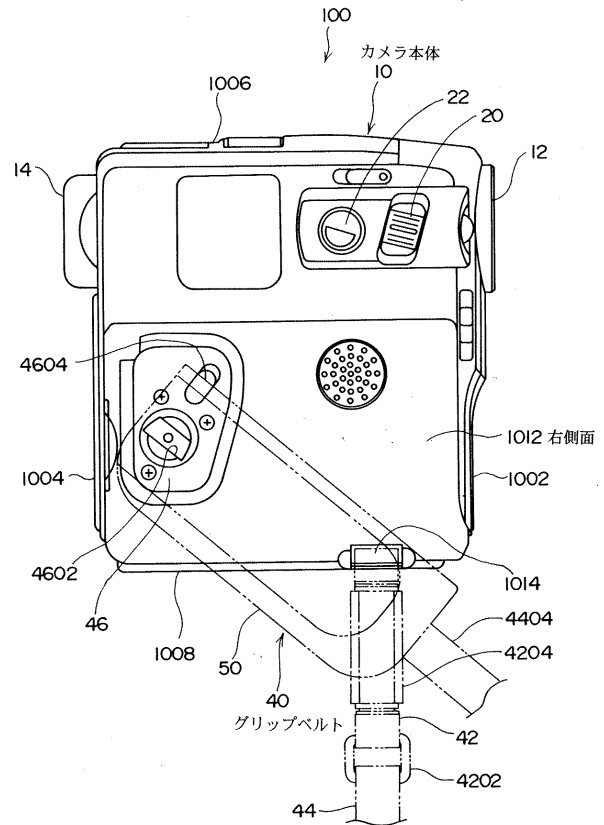
【図 2】



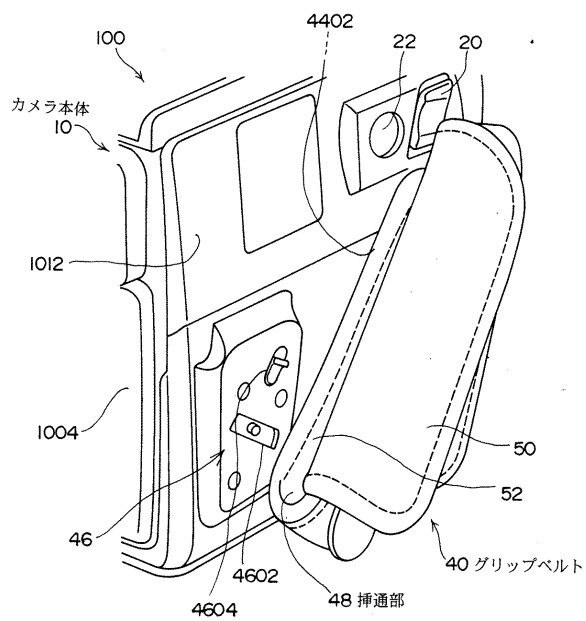
【図 3】



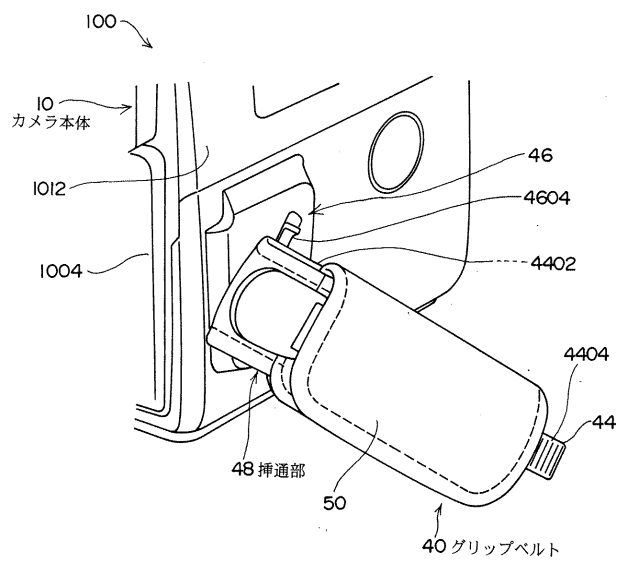
【図 4】



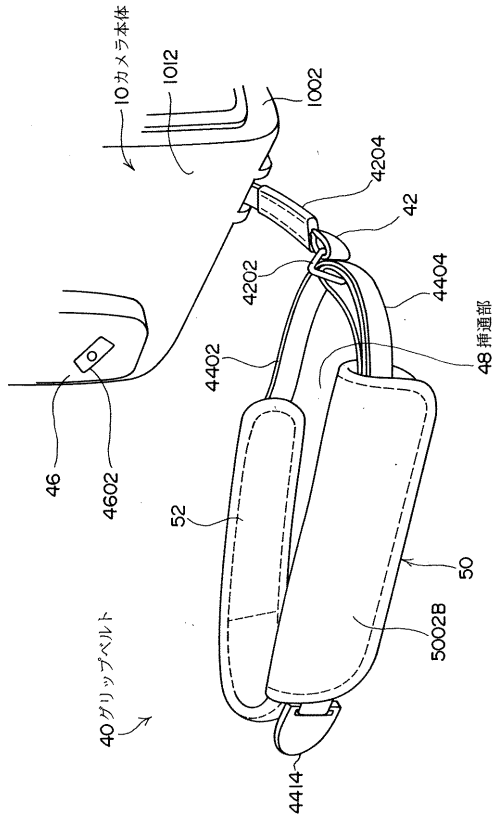
【図 5】



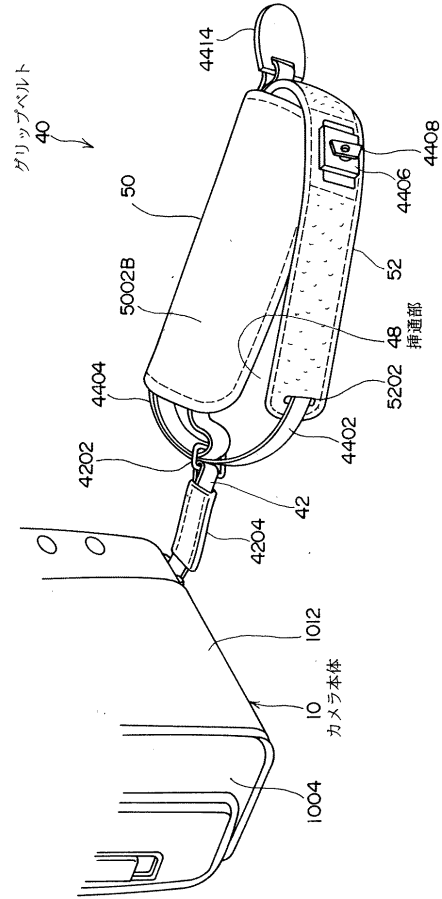
【図 6】



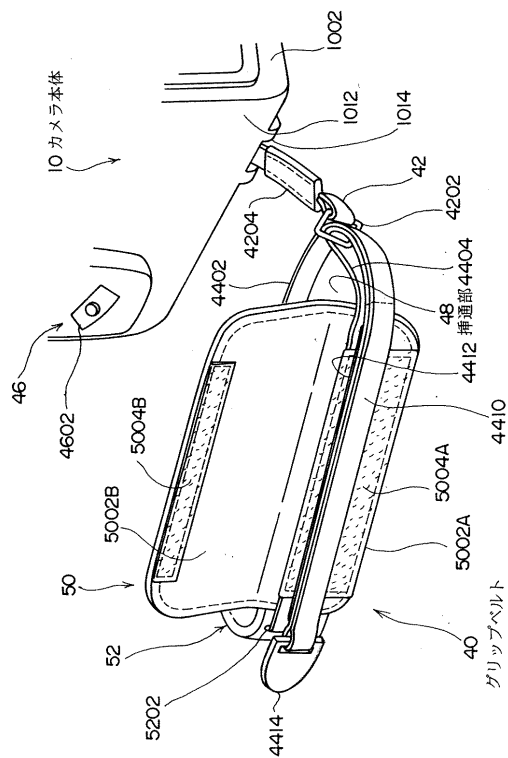
【図 7】



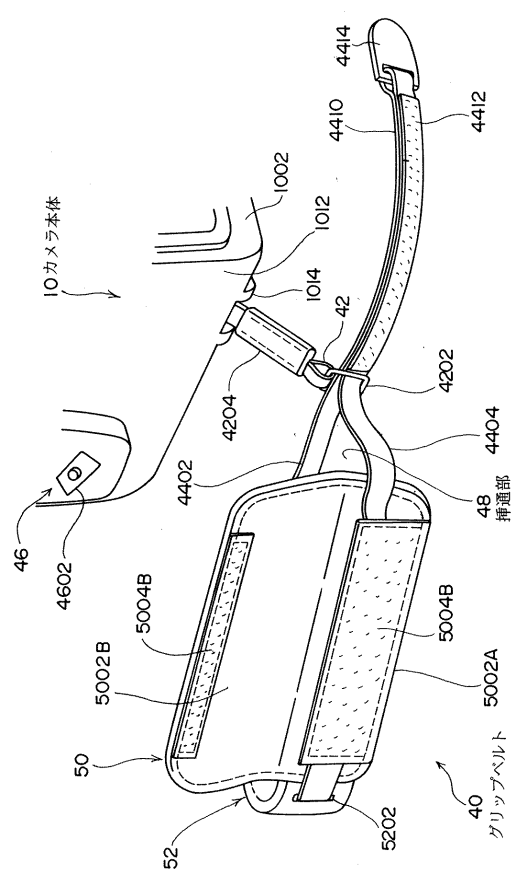
【図 8】



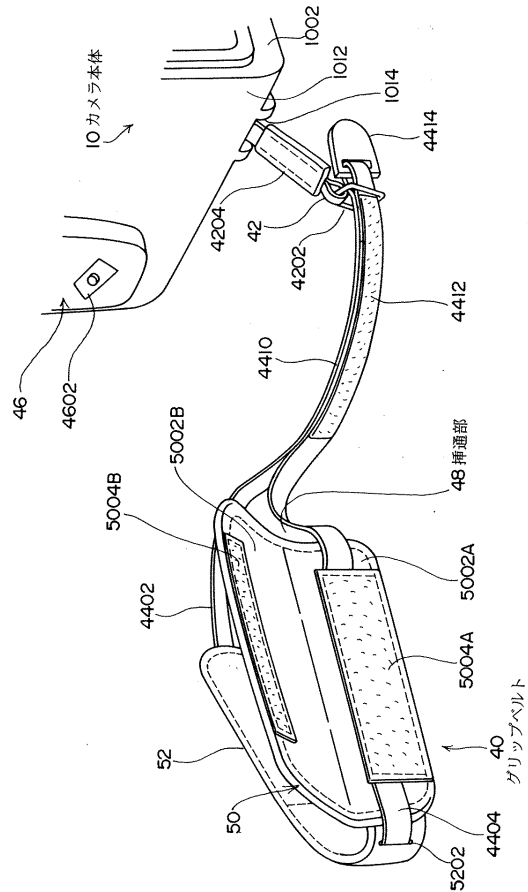
【図 9】



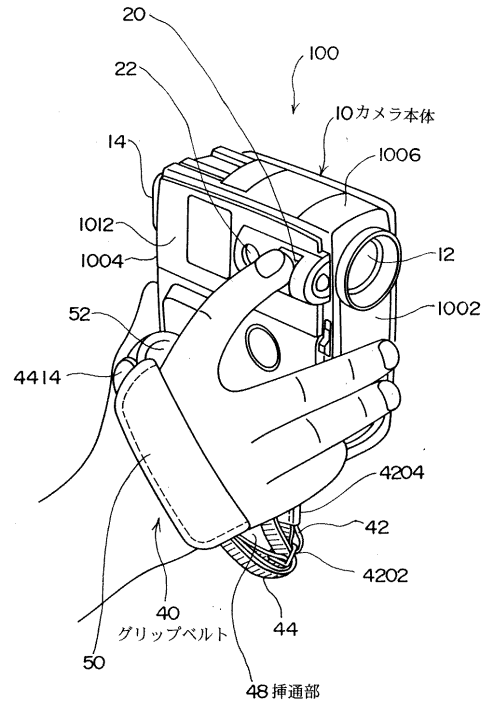
【図 10】



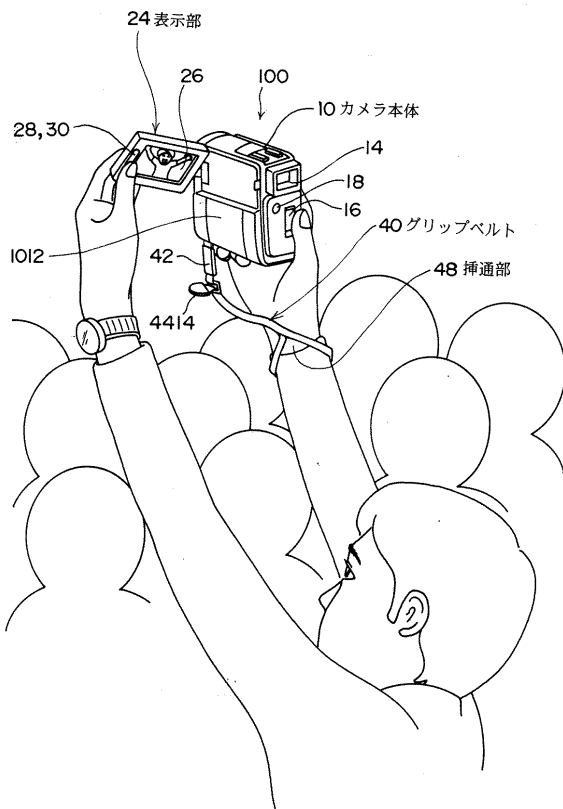
【図 1 1】



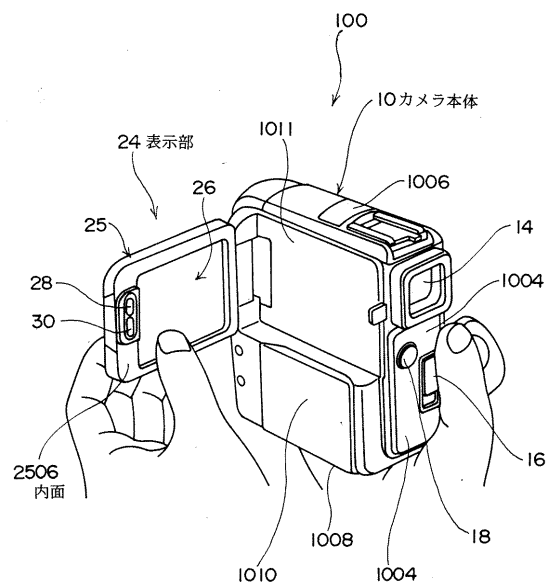
【図 1 2】



【図 1 3】



【図 1 4】



フロントページの続き

F ターム(参考) 2H105 AA34 AA38

5C022 AA11 AC01 AC21 AC22 AC25 AC42 AC77